

舞鶴鎮守府合同海軍葬儀

舞鶴海兵團雪中練兵場において

海軍大臣代理、舞鶴鎮守府司令長官ほか軍官民多数参列

昭和18年2月23日

野口良作海軍特務大尉以下

昭和18年10月13日

三原元一海軍中佐以下

昭和18年11月12日

村田藤一海軍少佐以下

昭和18年12月9日

清水利夫海軍少将以下

昭和19年1月13日

昭和19年4月6日

北野併八郎海軍少佐以下

昭和19年6月1日

鈴木 俊海軍少佐以下

昭和19年8月25日

古川久吉海軍少佐以下

昭和20年2月25日

神風特攻隊員谷暢夫海軍少尉員以下

昭和20年5月6日

島崎利 海軍中将以下

海軍区（大日本帝国海軍行政上の区画）

第一海軍区 横須賀鎮守府

第二海軍区 呉鎮守府

第三海軍区 佐世保鎮守府

第四海軍区 舞鶴鎮守府

（京都府、山形、新潟、富山、石川、福井、滋賀
兵庫（日本海側）、鳥取および島根の各県）

昭和十八年二月二十三日執行

舞鶴鎮守府大東亞戰爭戰歿者合同海軍葬儀弔辭弔電

葬
喪
管
理
者



弔辭

虞ミテ故海軍特務大尉野口良作君外諸勇士ノ英靈ニ告グ
諸士ハ宣戰ノ大詔渙面セラルルヤ任テ皇國隆替ノ重キニ受ケ命ヲ死生ノ間
ニ奉ジ太平印度南洋ニ跨ル廣大ナル海域ニ亘リ敵ヲ索メテ縱橫ニ馳驅シ到
ル處強敵堅陣ヲ粉碎シ開戦半歳ヲ出デズシテ已ニ戦局ノ大勢ヲ決シ克ク皇
軍ノ威武ヲ中外ニ宣揚シ更ニ進撃シテ敵反撃ノ企圖ヲ未然ニ制壓シ力戰敢
鬪遂ニ護國ノ華ト散ル

今ヤ大東亞戰爭ノ戦果日ニ擴大シ皇國興隆ノ礎愈鞏ク大東亞建設ノ曙光已
ニ燦トシテ輝クヲ見ルト雖モ御稜威ノ下諸士ノ勇戦ナクンバ安ンゾ克ク
茲ニ到ラン將又洋上千艦萬機有リト雖モ諸士ノ忠節ナクンバ將ニ何レニ
托シテカ我海軍ノ傳統ヲ繋グヲ得ンヤ

諸士ノ英靈永ク皇軍ノ傳統ニ生クト雖モ而モ生前ノ英姿尋マルニ由ナク遺
家族故舊ト俱ニ親シク哀情ヲ述ベント欲スルモ英靈默シテ語ラズ痛惜哀悼

何ゾ堪ヘン

然リト雖モ一死以テ君國ニ殉ズルハ是レ武人ノ齊シク念願スルトコロ 況
ヤ今次聖戰ハ肇國以來未會有ノ大偉業ニシテ正ニ皇道顯彰國運振興ノ秋芳
名ヲ永ク後昆ニ留メテ君國ニ殉ズ豈諸士ガ本懷ナラズトセンヤ
宜ナル哉事 天聽ニ達スルヤ聖恩洪大特ニ官等ヲ進メラレ祭棗料ヲ下賜ア
ラセラレ永ク其ノ忠烈ヲ顯彰セラル諸士以テ瞑スベキナリ
惟フニ戰局ノ前途ハ尙遼遠ニシテ帝國海軍ノ使命愈重キヲ加フルニ方リ我
等深ク諸士ノ忠烈ヲ懷ヒ倍々奮戰力圖以テ終局ノ目的達成ニ邁進シ諸士ガ
殉國ノ志ヲ空ウセザランコトヲ期ス

茲ニ葬儀ニ臨ミ恭シク惆悵ノ微忱ヲ捧ゲ諸士ノ忠魂ヲ弔フ

昭和十八年二月二十三日

舞鶴鎮守府司令長官 新 見 政 一

弔 辭

故海軍特務大尉野口良作君外諸勇士ノ合同海軍葬儀ヲ執行セラルルニ當リ

謹ミテ弔ノ意ヲ表ス

昭和十八年二月二十三日

海 軍 大 臣 嶋 田 繁 太 郎

弔 辭

虞ミテ故海軍特務大尉野口良作君外諸勇士ノ英靈ヲ弔フ

昭和十八年二月二十三日

軍 令 部 總 長 永 野 修 身

弔 辭

茲ニ舞鶴鎮守府合同海軍葬儀ヲ執行セラルルニ當リ護國ノ華ト散リタル
故海軍特務大尉野口良作君外諸勇士ノ赫々タル武勳ヲ憶ビ往時ノ勇士ヲ追
想シテ哀悼ノ念新ナルモノアリ
我等第一線部隊將兵ハ諸士ノ忠勇ニ倣ヒ義烈ニ應ヘ倍々其ノ使命ニ邁進シ
以テ諸士ガ遺セル不朽ノ功績ヲ虚ウセザランコトヲ期ス

英靈以テ瞑セヨ

昭和十八年二月二十三日

支那方面艦隊司令長官

吉田善吾

弔辭

故海軍特務大尉野口良作君外諸勇士ノ英靈ニ告グ
諸士ハ夙ニ大東亞戦争ノ事ニ從ヒ或ハ寒風怒濤ノ中或ハ酷熱彈雨ノ下ニ粉
骨碎身日夜幾多ノ辛酸ヲ嘗メツツ各其ノ任ヲ完ウシ遂ニ君國ニ殉ズ痛恨何
ゾ堪ヘン

今ヤ皇軍將士ノ奮闘ニヨリ戰局大ニ進ミ皇威八紘ニ治シ之固ヨリ
御校威ノ臻ス所ナリト雖モ亦諸士ガ勇戦奮闘ノ賜ニ外ナラズ諸士ガ勦ハ千
載不朽ニシテ其ノ忠烈ハ我等之ヲ繼承シ以テ本戦争ノ目的ヲ完遂セントス
諸士以テ瞑セヨ
茲ニ英靈ヲ迎ヘテ葬喪ノ儀ヲ執行セラルルニ當リ恭シク敬弔ノ意ヲ表ス

昭和十八年二月二十三日

聯合艦隊司令長官

山本五十六

弔辭

慶ミテ故海軍特務大尉野口良作君外諸勇士ノ英靈ヲ弔フ

昭和十八年二月二十三日

各艦隊鎮守府警備府司令長官

弔詞

大東亞戦争完遂ノ爲赫々タル武勳ヲ貽シ陣歿セラレタル故海軍特務大尉野
口良作氏外諸勇士ノ合同海軍葬儀ヲ執行セラルルニ方リ謹ミテ敬弔ノ意ヲ
表ス

昭和十八年二月二十三日

京都師團長 馬場正郎

本日茲ニ故海軍特務大尉野口良作君外諸勇士ノ英靈ヲ迎ヘ舞鶴鎮守府合同海軍葬儀ノ執リ行ハセラルルニ方リ謹ミテ靈前ニ額キ恭シク哀悼ノ微忱ヲ捧グ

諸士義ニ大命ヲ奉シテ今次ノ聖戰ニ蹶然出動スルヤ盡忠ノ至誠ニ燃エ言詰ニ絶スル千辛萬苦ヲ克服シテ勇戰奮闘ヲ續ケ遠ク鷗翼ヲ驅ツテ敵要衝ヲ燦碎シ汪洋タル洋上決死索敵、必殺ノ勇武ヲ振ヒ壯烈ナル自爆ヲ敢行シテ頑敵ヲ擊破シ或ハ洋上ニ決戰シテ敵艦隊ヲ捕捉殲滅シ敵港灣深ク潛入シ敢然身ヲ挺シテ敵巨艦ヲ轟沈シ或ハ熱帶千古不斧ノ密林ヲ突破シテ敵ノ堅岩要害ヲ攻陷シ又寒風怒濤ヲ突キテ北洋凍土ニ奮戰シ壯烈ナル名譽ノ戰死ヲ遂ゲラレ或ハ力戰奮闘ノ結果傷瀉ヲ受ケ壯志ヲ懷キテ陣歿セラル 噫諸士ハ威是レ勝ヲ萬里ノ外ニ決シテ護國ノ大任ニ殫ル其ノ忠勇義烈ハ皇國民ノ永劫ニ感激景仰宿ク能ハザル所ナリ

今ヤ諸士既ニ逝イテ復タ其ノ壯容ニ接スルコト能ハズ今茲ニ諸士ノ靈前ニ

想キテ生前ヲ追憶シ高感胸ニ迫リテ言フ所ヲ知ラズ父兄一門ノ胸中ニ想察スルトキ哀痛惻怛暮々斷腸ノ情ニ堪ヘザルナリ

然リト雖モ諸士ハ皇國一大事ノ秋一死以テ護國ノ大任ヲ全ウシ大東亞安定ノ重キ礎石ト散ル諸士ノ勲ハ千載ニ輝キ諸士ノ名ハ萬代ニ朽チズ諸士ノ忠勇義烈ノ魂魂ハ永遠ニ後人ノ心ニ生キルナリ 夫レ諸士ハ護國ノ神トシテ靖國ノ神社ニ祀ラレ運綿不易ノ皇基ヲ眞護シ金甌無缺ノ國體ヲ昭鑒シ永ク皇國民ノ崇敬ヲ享クルノミナラズ至上ノ祀典ヲ授リテ萬世臣子ノ楷模ト仰ガル其ノ光榮無窮日本男子ノ本懷家門ノ榮譽又之ニ過グルモノナカラン 大東亞戰爭開戦以來既ニ一年有餘 大御親威ノ下忠勇無比ナル皇軍ノ武威四方ニ振ヒ暴戾非道ナル敵米英ノ東洋制覇ノ非望ノ據點相繼テ覆滅シ史上空前ノ烈々タル戰果ヲ收メ曠古ノ大戰爭必勝ノ基礎築キ上ゲラル是レ諸士ガ忠死殉國ノ賜ニ他ナラズ只々感佩措ク能ハザル所ナリ 正ニ大東亞戰爭ノ決戦ニ直面セル今日諸士ノ忠烈ニ成レル此ノ必勝ノ基礎ノ上ニ立チ帝國ハ愈之ヲ彌充強化シ斷ジテ頑敵米英ヲ擊滅セントス

茲ニ戻ミテ諸士決死奮戦ノ遺烈ヲ對揚センコトヲ誓ヒ奉ル
英靈尙クバ饗ケヨ

昭和十八年二月二十三日

舞鶴鎮守府管下府縣知事代表

富山縣知事 正五位 町 村 金 五
勳四等

弔 辭

維時昭和十八年二月二十三日故海軍特務大尉野口良作君等戦歿諸勇士ノ台
同海軍葬ヲ執行セラルルニ方リ臨ミテ英靈ニ白ス
今次聖戦勃發以來我が海軍將兵ハ狂風怒濤ヲ凌ギテ警備ノ大任ニ當リ陸戰
隊ノ堅壘ニ突撃シ航空隊ノ要衝ヲ爆撃スル等幾多ノ武勳ヲ樹テテ帝國海軍
ノ威力ヲ中外ニ發揮セラレタリ 殊ニ米英兩國ト戦端ヲ開クヤ海軍ノ作戰
間髪ヲ容レズ敵軍ヲ急襲シテ其ノ艦隊ノ精銳ト航空兵力ノ大半トヲ撃滅シ
至ル處其ノ要衝ヲ占據ス 而シテ此ノ赫々タル戦果ニ欣願スルトキ諸士ノ

勇戦奮闘シテ遂ニ英骨ヲ摧キ碧血ヲ注ギ又ハ傷病ニ墮レテ身命ヲ君國ニ奉
ゲラレタル偉烈ヲ仰イデ洵ニ感激ノ至リニ堪ヘザルナリ
今ヤ太平洋印度洋ノ制海權ヲ我が掌中ニ歸セリト雖モ交戦ハ長期ニ亘ルベ
ク聖業完遂ノ前途ハ尙多難ナリ前線更ニ奮フベク銃後以テ興ラザルベカラ
ズ 我等ハ乃チ銃後ノ完遂ヲ期シ奉公ノ至誠ヲ盡シ皇譚ヲ翼贊シテ以テ諸
士ガ純忠ノ遺志ニ副ハンコトヲ期ス
在天ノ英靈希クバ來リ饗ケヨ

昭和十八年二月二十三日

京 都 府 知 事 安 藤 狂 四 郎

弔 辭

本日茲ニ故海軍特務大尉野口良作君外諸勇士ノ合同海軍葬儀ヲ執行セラル
ルニ際リ恭シク靈位ヲ再拜シ虔ミテ弔弔ノ誠ヲ捧グ
諸士義ニ大命ヲ奉ジテ勇躍征途ニ上ルヤ酷寒ト闘ヒ炎熱ヲ冒シ困苦ニ耐ヘ

缺乏ヲ憂キ勇戦力闘克ク頑敵ヲ殲滅シ赫々タル偉勳ヲ樹テ世界戦史上未嘗
有ノ戦果ヲ擧ゲ皇威ヲ中外ニ宣揚セラレタリ 其ノ功績ノ偉大ナルヲ等國
民ノ等シク景仰措ク能ハザル所ナリ
然ルニ惜ムベシ征戰半バニシテ遂ニ護國ノ華ト散ラルル蹇ニ哀悼ノ情ニ堪ヘ
ザルナリ

顧ミルニ大東亞戦争ノ大詔喚發セラレテ茲ニ一年有餘皇軍ノ陸海空緊密ナ
ル共同作戰ノ妙ト神速果敢ナル將兵ノ奮闘トニ依リ今ヤ東亞ニ於ケル米英
ノ據點ハ既ニ覆滅セラレ共榮圈内ノ新秩序日ト共ニ其ノ基礎ヲ固クシ皇威
八紘ニ燦タルモノアル之固ヨリ 御稜威ノ然ラシムル所ナリト雖モ亦諸士
ガ忠烈捨身ノ賜ナリト言ハザルベカラズ

惟フニ今次ノ聖戰タルヤ世界新秩序確立ノ大理想ノ下ニ勃發セシモノニシ
テ嘗ニ東亞ノ秩序樹立ヲ以テ足レリトスベキモノニ非ズ 盟邦ノ樞軸愈擴
大強化セラルルモノアリト雖モ之ガ完遂亦一朝一夕ニ來ルモノニ非ズト信
ズ 宜ナル哉彼米英ハ膺大ナル物資ニ依存シテ長期戰ノ態勢ヲ持シ頻リニ

小弱國ヲ驅ツテ之ガ懷柔ニ狂奔シツツアリテ眞ニ些ノ偷安ヲモ察サザルモ
ノアルナリ 我等統後ノ國民タルモノ必勝ノ信念ヲ以テ一億一心高聲國防
ノ完遂ヲ期シ聖戰完遂ニ邁進センコトヲ期ス 之レ諸士ガ偉勳ノ第一ニ應
フル所以ナリト信ズ

英靈冀クバ來リ饗ケラレンコトヲ

昭和十八年二月二十三日

石川縣知事 勳三等 田 中 重 之

弔 詞

本日茲ニ故海軍特務大尉正七位勳五等野口良作君以下諸勇士ノ合同海軍葬
儀ニ當リ恭シク思魂ヲ弔ヒ厚ク冥福ヲ祈ル

昭和十八年二月二十三日

山形縣知事 齋 藤 亮

弔 辭

本日茲ニ戰歿者合同海軍葬儀ヲ嚴修セララルルニ當リ謹ミテ英靈ニ白ス
諸士義ニ大命ヲ奉ジテ征途ニ赴クヤ狂瀾怒濤ノ裡身戰奮闘之レ力ノ赫々タ
ル武勳ヲ樹テテ遂ニ護國ノ華ト散ル洵ニ哀悼痛惜ニ察ヘザルナリ
然レ共生ヲ皇國ニ享ケ 大君ノ御楯トナルハ雷ニ男子ノ本懐タルノミナラ
ズ其ノ忠烈勇武ハ炳トシテ千載青史ニ輝キ以テ後昆ヲ振勵ス
今ヤ皇威八紘ニ輝キ雄渾ナル大東亞共榮國建設ノ基礎愈固シ諸士又以テ
スベキナリ 我等亦銜後ノ護ニ完璧ヲ期シ益至誠奉公ノ誠ヲ盡シ以テ諸士
ノ遺志ニ副ハンコトヲ期ス

昭和十八年二月二十三日

滋賀縣知事 並 川 義 隆

弔 辭

本日茲ニ故海軍特務大尉野口良作氏外諸勇士ノ合同海軍葬儀ヲ執行セララル

ルニ方リ謹ミテ忠烈無比ナル戰歿勇士ノ英靈ニ恭シク哀悼ノ微衷ヲ捧グ
卿等義ニ大命ヲ奉ジ馳ノ御楯トシテ勇躍草里ノ激濤ヲ臨リ海國日本ノ存
ヲ 其ノ身ニ背負ヒ鐵籠ヲ從ヘ堂々敵艦隊ノ轟沈被ニ或ハ豪敵潛行ニ或ハ
敵據點上陸作戰ニ凡ユル艱苦ヲ克服シテ眞ニ鬼敵ヲモ泣カシムルノ赫々タ
ル武勳ヲ樹テラレシニ嗚呼命ナル終途ニ壯烈ナル戰死ヲ遂ゲラル
憶ヘバ卿等母港ヲ發スルノトキ固ヨリ生還ヲ期セザリシナラムモ我等只管
卿等ノ武運長久ヲ祈念シ威容儼タル鐵籠ト共ニ勇姿颯爽赫々ノ武勳ニ輝キ
ツツ必ズ凱旋ノ日アルヲ得テタルニ噫今何ゾ無言ノ凱旋ヲ迎ヘントハ
今ヤ瀕渺タル戰域幾千里大東亞ノ共榮國ハ八紘一字ノ下浸々乎トシテ聖光
ニ映ヘ必勝不敗ノ態勢ヲ示現セリ 我ガ威武國ヨリ 御校威ノ然ラシムル
トコロナリト雖モ亦卿等ガ殉國ノ精神ニ依ラズンバアラス 嗚呼卿等ハ實
ニ身ヲ以テ皇國不滅ノ聖業ニ殉ジ範ヲ永代ニ垂レ其ノ忠烈ハ燦トシテ青史
ニ輝キ其ノ遺烈ハ家門郷黨ニ芳シ即チ一死以テ常任不滅ノ生ヲ享ケタルモ
ノト謂フベシ

本日茲ニ卿等ノ合同葬儀ニ會シ生前ノ赫々タル武勳ヲ憶ビ我等一致結束愈
鐵石ノ固モテ聖業完遂ニ期スルトコロ切ナリ 希クバ護國ノ英靈永ヘニ鎮
リテ冥誕アラムコトヲ

在天ノ英靈我等ガ至情ヲ來リテ饗ケヨ

昭和十八年二月二十三日

福井縣知事 正五位
勳四等 永野若松

弔 詞

維時昭和十八年二月二十三日東舞鶴市長從四位勳三等立花一龍ミテ故海軍
特務大尉野口良作君外戰歿諸勇士ノ英靈ニ捧グ
諸士夙ニ大命ヲ奉ジテ勇躍征途ニ上リ爾來烈暑互寒ヲ受ギ艱苦缺乏ニ堪ヘ
萬里ノ波濤ヲ越エテ或ハ洋上ニ或ハ大空ニ或ハ陸戰隊トシテ生死ノ境ニ活
躍シ其ノ傳統ノ海軍精神ヲ以テ奮戰力闘勁敵ヲ破リテ世界史上未曾有ノ大
戰果ヲ獲得セラル 而シテ聖戰ノ前途諸士ノ忠誠ニ俟ツモノ更ニ大ナルモ

ノアリシニ惜ムベシ遂ニ國ニ殉ゼラル誠ニ痛惜ニ堪ヘザルナリ 殊ニ親ヒ
テ海軍精神ノ胸中ニ致サバ萬感陶ニ迫リテ言フ所ヲ知ラズ

然リト雖モ 大君ノ下屍ヲ馬革ニ裹ムハ之レ武人ノ面目日本男子ノ本懐ナ
リ 諸士ノ忠烈ハ以テ後進ヲ奮起セシメ其ノ偉勳ハ昭々乎トシテ萬世ニ光
グ 諸士以テ顧スベキナリ

今ヤ東亞ニ於ケル牙城盡ク潰滅シ國內諸國亦皇軍ノ治下ニ浴ス 大東亞ノ
礎石既ニ磐石ノ確キニアリト雖モ米英兩國ハ尙徒ニ其ノ經濟力ヲ頼ミテ長
期抗戰ヲ叫ビ聖戰ノ前途尙濼遠ニシテ皇國使命益重大ナルヲ覺ユ 吾等一
億國民ハ必勝ノ信念ヲ以テ聖業完遂ニ邁進シ誓ツテ諸士ノ英魂ニ應フル處
アラントス

英靈庶幾クバ冥誕セラレムコトヲ

弔 詞

維時昭和十八年二月二十三日舞鶴海兵團ニ於テ大東亞戰爭ノ爲ニ遠征セラ

レ遂ニ皇國ニ殉セラレタル故海軍特務大尉野口良作君外諸氏ノ合同海軍葬
ヲ舉行セラル誠ニ痛惜哀悼ノ至ニ堪ヘズ
然レドモ諸勇士ノ武勳ハ赫々トシテ我國戰史ヲ飾リ永ク國民ノ敬慕スル所
トナラム

茲ニ社員四百餘萬人ニ代リ恭シク弔詞ヲ呈ス

昭和十八年二月二十三日

日本赤十字社社長

從二位勳二等 公爵 德 川 因 順

弔 詞

維時昭和十八年二月二十三日舞鶴海兵團ニ於テ大東亞戰爭ノ爲ニ遠征セラ
レ遂ニ皇國ニ殉セラレタル故海軍特務大尉野口良作君外諸氏ノ合同海軍葬
ヲ舉行セラル哀哉
然リト雖モ諸勇士ノ忠勇義烈ハ國民ヲシテ感敬奮起セシメ其ノ勳功ハ水ニ
青史ニ輝キテ朽ツルナシ 冀クバ神靈慰安セラレヨ

茲ニ謹ミテ弔詞ヲ呈ス

昭和十八年二月二十三日

日本赤十字社篤志看護婦人會

會長 公爵夫人 德 川 泰 子

弔 辭

故海軍特務大尉野口良作君外諸勇士ノ英靈ヲ祀ラルルニ當リ謹ミテ弔
意ヲ表ス

昭和十八年二月二十三日

及 後 會 長 永 野 修 身

弔 詞

本日茲ニ今次聖戰ニ參加シ各地ニ轉戰活躍シ義勇奉公幾々匪弱ノ誠ヲ盡シ
以テ皇謨ヲ翼實シ遂ニ設國ノ花ト散リタル忠烈勇武ノ士故海軍特務大尉野
口良作君外諸勇士ノ合同海軍葬ヲ舉行セラルルニ方リ克ク臣子ノ大道ヲ完

ウセラレ勇猛鬼神ヲ泣カシムル赫々タル武勳ヲ偲ビ恭シク弔詞ヲ捧ゲ忠靈ヲ慰ム

昭和十八年二月二十三日

恩賜 軍人援護會長
財團 陸軍大將勳一等男爵 奈良武次
功三級

弔詞

故海軍特務大尉野口良作外勇士今次聖戰ニ參加セラレ名譽ノ戰死ヲ遂ゲラル豈悼惜ニ耐ヘムヤ 然レドモ君ノ忠勇ハ國民ノ齊シク敬仰スル所ニシテ其ノ遺烈ハ千歲ニ朽チザルベシ
今ヤ米英膺懲ノ大詔渙發セラレ陸海皇軍ハ古今未會有ノ戰果ヲ擧ゲ大東亞ノ建設ニ邁進シツツアリ 御稜威ノ下一億國民鐵石ノ決意ハ必ズヤ聖戰ノ目的ヲ達シ東亞永遠ノ平和ヲ確立シ君ノ偉名モ亦竹帛ニ垂レン 英靈以テ瞑スベシ

茲ニ悲愴ナル葬儀ニ際シ謹ミテ弔意ヲ表ス

昭和十八年二月二十三日

大日本海軍軍人會々長
陸軍大將 正三位 勳一等 菅 田 謙 吉
功三級

弔詞

海軍協會長 從二位 有吉忠一 五十万ノ會員ヲ代表シ謹ミテ故海軍特務大尉野口良作君外諸勇士ノ英靈ニ由ス
諸士ハ出征以來烈暑ニ堪ヘ怒濤ヲ冒シ勇戰奮闘向フ所悉ク敵ヲ殲滅シ慈々タル武勳ヲ樹テ遂ニ陣中ニ散華セラル洵ニ哀惜痛悼ニ堪ヘザルナリ 然レドモ其ノ行動ノ壯烈タル大ニ後輩ヲ激勵シ益士氣ヲ鼓舞セシム
今ヤ幽明境ヲ異ニシテ復諸士ノ勇姿ト相見ユルコト能ハズト雖モ聖訓ノ進ム所敵ナク懲膺ノ遺烈ハ不遜頑迷ナル米英ノ頭上ニ下サレ南洋ノ全域ハ既ニ我が制壓下ニ摺伏シ 大御稜威ノ下我武威ハ速ク印度洋及「ペーリ」ング

一海ニ及ビ極軸國ト呼應シテ着々大東亞共榮國獨立ノ巨歩ヲ進メツツアリ
諸士ノ忠烈ハ永ク我海軍ノ精神トナリ以テ皇基ヲ鞏固ニ守護セン 嗚呼遺
烈昭々トシテ永ヘニ朽チズ 今公葬ニ際シテ敬弔ノ誠ヲ捧グ
在天ノ英靈髣髴トシテ來リ饗ケヨ

昭和十八年二月二十三日

海軍協會長 有吉 忠一

弔 辭

本日茲ニ故海軍特務大尉野口良作君外諸勇士ノ舞鶴鎮守府合同海軍葬ヲ執
行セラルルニ方リ恭シク英靈ニ白ス
諸士異ニ大命ヲ奉ジテ勇躍征途ニ上リ爾來狂瀾怒濤ヲ冒シ具ニ辛酸ヲ嘗メ
各所ニ轉戰奮闘シ跡々タル武勳ヲ奏セラレツツアリシガ終ニ壯烈ナル戦死
ヲ遂ゲ或ハ不幸癘病ニ殞レ皇國不滅ノ聖業ニ殉ゼラル洵ニ痛惜ノ至リニ堪
ヘザルナリ

然リト雖モソノ遺烈ハ懷トシテ千歳ニ輝キソノ遺勳ハ四々トシテ萬代ニ朽
チザルベシ 諸士亦以テ瞑スベキナリ
今ヤ輝カシキ新東亞ノ建設着々トシテソノ歩武ヲ進メ八紘爲宇ノ皇業ヲ
現セラレツツアルノ秋諸士ガ武勳ヲ思ビ深甚ナル哀悼ノ微忱ヲ捧グルト共
ニ我等又一億一心國家ノ總力ヲ結集シテ米英艦隊ニ邁進シ奮ツテ諸士ガ英
志ニ應フル處アラントス
英靈希クバ來リ饗ケヨ

昭和十八年二月二十三日

京 都 市 長 篠 原 英 太 郎

弔 辭

本日茲ニ故海軍特務大尉野口良作氏外諸勇士ノ合同海軍葬儀ヲ執行セラレ
ルニ方リ度ミテ哀悼ノ誠ヲ捧グ
卿等曩ニ大命ヲ奉ジ大東亞戦争ニ參加シ跡々タル武勳ヲ樹テタルニ惜ムベ

シ遂ニ護國ノ華ト散ラル洵ニ哀悼痛恨ニ堪ヘザルナリ 然レ共卿等ノ忠烈
ハ炳トシテ千載青史ニ輝カン
今ヤ皇威八紘ニ輝キ大東亞聖業ノ基礎愈固シ之實ニ殉國ノ忠誠ニ依ルト云
フベシ卿等以テ誤スベシ 我等其ノ忠烈ヲ繼承シ戮力協心誓ツテ興亞百年
ノ大業ヲ完遂セムコトヲ期ス
茲ニ恭シク弔辭ヲ呈シ英靈ヲ弔フ

昭和十八年二月二十三日

舞鶴市長 水島彦一郎

弔詞

故海軍特務大尉野口良作殿外語英靈ニ對シ謹ミテ弔詞ヲ捧呈致シマス
今度大東亞新秩序建設ノ爲大命ヲ奉ジテ勇躍前線ニ出動セラレ奮戦力闘
赫タル武勳ヲ樹テラレマシタガ残念ニモ戦央ニシテ遂ニ名譽ノ戦死ヲ遂ゲ
ラレ或ハ不幸病歿ニ侵サレ陣歿セラレマシタコトハ洵ニ御名譽ノ事トハ存
ジナガラ邦家ノ爲痛惜哀悼ニ堪ヘマ處デ御座イマス 私共ガ此大戦時下ニ

於テ日々幸福ナ生活ノ出來マスコトハモトヨリ 御稜威ヲ畏デハアリマス
ガ又御英靈ノ忠烈偉勳ニヨルコトト感謝ニ堪ヘマセン
御遺族ノ細心信ニ對シマシテハ誠ニ御氣ノ毒ニ存ジマス 唯「モ」少シ
カセタカツタ「ト」イフ御氣持モアリ細感懐モ一入深イ事ト存ジマシテ衷心
御同情申上グル次第デゴザイマス
御英靈ハ永ヘニ靖國ノ御社ニ齋キ祀ラレ給ヒテ護國ノ御神ト崇メラレソノ
盡忠報國ノ御偉勳ハ有史未會有ノ大東亞戦史上ニ不滅ニ輝イテ國民ノ齊シ
ク景仰スル所トナラレルノデアリマシテ御家門ノ榮譽男子ノ本懐之ニ過ギ
ルモノハナイノデアリマス
今ヤ興亞ノ聖業ハ日々ニ進ミ皇軍ノ大戦果ト相俟ツテ國內建制モ亦着々ト
整備シ一億一心以テ大東亞永遠ノ平和ヲ樹立シテ諸士ノ忠魂ニ酬ユルタメ
一意御奉公ヲ致シテ居リマス 謹ンデ御冥福ノ程御祈リ申上ゲマス
茲ニ大日本婦人會京都府支部會員一同ニ代リマシテ恭シク哀悼ノ意ヲ捧グ
ル次第デ御座イマス

昭和十八年二月二十三日

大日本婦人會京都府支部長

大谷智子

弔 辭

故野口海軍特務大尉外諸勇士ノ合同海軍葬儀ニ當リ謹ミテ弔意ヲ表シ英靈ノ冥福ヲ祈ル

昭和十八年二月二十三日

金澤地方海軍人專部長 山内秀夫

弔 辭

故海軍特務大尉野口良作君外諸勇士ノ合同海軍葬儀ニ當リ謹ミテ弔意ヲ表シ英靈ノ冥福ヲ祈ル

昭和十八年二月二十三日

新潟地方海軍人專部長 戸田鶴壽

弔 詞

慶ミテ故海軍特務大尉野口良作外諸勇士ノ英靈ニ告グ
今ヤ帝國ハ米英ノ企圖スル東洋制覇ノ野望ヲ粉碎シ以テ八紘爲宇ノ一
大東亞ニ顯現シ東ニ進ンデ世界各國共榮ノ樂ヲ偕ニセンコトヲ期シ意氣一
心征戰ノ目的達成ニ邁進中ナルノ秋諸士ハ選レテ皇軍ノ一員トシテ奮ニ皇
軍傳統ノ道義ヲ堅持シ徹底シタル死生觀ニ立脚シ淵ル處皇軍ノ神髓ヲ發揮
孜々トシテ君恩ニ報ズルノ責務遂行途上不幸聖戰ニ殉ゼラル洵ニ痛恨哀惜
ニ堪ヘザル所ニシテ遺族ノ心情亦察スルニ餘リアリ
然レドモ其ノ忠烈ハ昭々トシテ皇軍士氣ノ源泉トナリ其ノ偉勳ハ永ク青史
ヲ照ラスベク期セズシテ郷黨ノ敬仰深キコト夫レ斯ノ如シ亦以テ隕スベキ
ナリ

戰局今ヤ重大ナリ 吾人ハ諸士ノ遺志ヲ繼承シ謹ンデ皇旗ヲ翼贊シ誓リ誓
ツテ帝國ノ光榮ヲ保全センコトヲ期ス 庶クバ忠魂永ニ照鑑ヲ垂レ給ハン
コトヲ

茲ニ合同葬儀ヲ執行セラルルニ當リ敬弔ノ誠意ヲ捧ク

昭和十八年二月二十三日

山形聯隊區司令官

帝國在郷軍人會山形支部長

陸軍大佐 從五位 石 田 豐 藏
勳三等

弔 詞

故海軍特務大尉野口良作氏外勇士ハ大命ヲ奉ジ聖戰ニ從ヒ赫々タル武勳ヲ
櫛テラレシニ惜シクモ遂ニ君國ニ殉ゼラル今茲ニ英靈ヲ迎ヘテ痛惜ノ至リ
ニ堪ヘズ 卿等ノ窮リナキ忠烈ト不滅ノ勳功ヲ偲ビ恭シク哀悼ノ赤誠ヲ捧
グ

冀クバ忠魂永久ニ皇國ノ加護アラシムコトヲ

昭和十八年二月二十三日

京都府會議長 大西 太郎 兵 衛

弔 詞

本日茲ニ舞鶴海軍合同葬儀ニ臨ミ大東亞建設ノ大業ニ從ヒ盡忠報國ノ誠ヲ
竭シテ遂ニ聖戰ノ華ト散ラレシ諸勇士ニ對シ謹ミテ敬弔ノ意ヲ表ス

昭和十八年二月二十三日

京都市統後春公會長

京 都 市 長 篠 原 英 太 郎

弔 詞

故海軍特務大尉野口良作殿外諸勇士合同葬儀ヲ嚴修セラルルニ方リ謹ミテ
英靈ニ白ス

諸士義ニ大命ヲ拜シ欣然起ツテ征途ニ上リ決死報國ヲ誓ヒ勇戰敢闘常ニ赫
赫タル武勳ヲ樹テシガ不幸中道ニシテ遂ニ陣歿セラル痛恨哀悼爰ゾ堪ヘン
ヤ

今ヤ雄渾ナル皇軍ノ作戰ハ世界史上空前ノ戰果ヲ收メ要衝悉ク我が制壓下

ニ歸ス是レ固ヨリ 御稜威ノ然ラシムルトコロナリト雖モ又以テ諸士ガ盡
忠報國ノ勳ニ依ラズンバアラザルナリ 誠ニ諸士ノ忠烈ハ躍進日本ノ礎石
タルト共ニ實ニ世界新秩序建設ノ支柱ト謂フベシ豈皇國男子ノ本懷之ニ過
グルモノアラシヤ
茲ニ亦誠ヲ披瀝シテ感謝ノ誠ヲ捧ゲ愈必勝態勢ヲ鞏固ニシ聖戰完遂ニ挺身
シ以テ諸士ノ遺烈ニ應ヘンコトヲ期ス
謹ミテ英魂ヲ慰ム 幸ニ之ヲ饗ケヨ

昭和十八年二月二十三日

新潟縣町村長會長 佐藤芳男

甲 辭

今次聖戰ニ出動シ幾多ノ難カシキ勳功ヲ殘シ名譽ノ戰死ヲ遂ゲラレタル故
海軍特務大尉野口良作殿外諸勇士ノ合同海軍葬儀ニ當リ英靈ヲ遙拜シ謹ミ
テ深甚ナル敬弔ノ意ヲ表ス

昭和十八年二月二十三日

朝 日 新 報 社

甲 辭

請ミテ故海軍特務大尉野口良作殿外諸勇士ノ英靈ニ捧グ
願レバ昭和十六年十二月八日 畏クモ宣戰ノ大詔ヲ拜スルヤ諸士ハ勇國大
東亞戰ニ從軍セラレ苦闘奮戰幾ケ月或ハ氷雪狂フ北洋ニ或ハ渺茫異ナキ南
溟ノ孤島ニ硝煙漂フ太平洋ヲ疾驅シテ世界ノ最強ヲ自負スル米英蘭ノ對日
包圍環ヲ微塵ニ粉碎シ海國男子ノ眞面目ヲ發揮シテ赫々タル武勳ヲ樹テラ
レシニ何タル痛恨事ゾヤ聖戰未ダ半バナナルニ沸々タル壯志ヲ懷キテ今尙春
秋ニ富ミ國家ノ俟ツモノ頼ル多カリシモ遂ニ忠烈無比ナル戰死ヲ遂ゲラル
海行カバ水漬ク屍 大君ノ邊ニコソ死ナメ今コソ諸士ハ聖ナル日本民族最
高ノ誇リヲ將又最高ノ任務ヲ果シ微笑ミモテ護國ノ英靈ト化セラル曠世シ
イ哉 然リト雖モ盡キザル感激ヲ國民ニ湧カセ尊キ皇國ノ礎石トシテ曠古
ノ大業ニ挺身粉骨セラレタル諸士ノ勳功ハ永遠ニ青史ヲ飾リ儒夫ヲシテ又

起タシム 今諸士ノ靈前ニ頌キテ涙新ニ此ノ盛儀ニ列セラルル御遺族ノ御
心境ニ想ヒテ致ストキ萬感胸ニ迫リテ轉タ哀悼ノ念深ズ能ハズ
今ヤ戦局ハ愈熾烈ヲ加フルモ尊キ血ヲ以ツテ築キ上ゲラレタル我ガ必勝ノ
戰略據點ハ既ニ完成セラレタリ コノ秋肅々トシテ海軍葬儀ノ盛典執リ行
ハセラル 冀クバ英魂莞爾トシテ限り無キ皇國ノ神榮エテ譲リ給ヘ

昭和十八年二月二十三日

中部日本新聞社社長 大 島 一 郎

弔 辭

本日茲ニ大東亞戦争戦歿者故海軍特務大尉野口良作外諸勇士ノ合同海軍葬
儀ヲ執行セラルルニ當リ虔而哀悼ノ微忱ヲ表ス
惟ヲニ大東亞戦争ハ肇國ノ大理想ヲ世界ニ宣布スベキ民族の大使命ヲ達成
スル爲ニ惠マレタル神機ニシテ偶生ヲ聖代ニ享ケ聖業完遂ニ直接寄與スル
皇國軍人ノ光榮感激コレニ過グルモノハナイノデアアル 殊ニ身ヲ赫耀タル
歴史ト傳統ヲ堅持スル帝國海軍ニ投ジ遠ク南溟ノ異域ニ勇奮敢闘頑敵撃攘

ニ挺身シテ任ヲ辱メハ欣躍死ニ就ケル諸英靈ノ高風ハ永ヘニ國民景仰ノ的
タルヲ失ハナイノデアアル
本日コノ盛葬ニ侍スルノ光榮ヲ擲フ我等惜シミナキ闘魂ノ發揚ニ依リテ
靈ニ應ヘ敵軍滅ニ些ノ遺憾ナカラムコトヲ誓ハントスルモノデアアル
在天ノ靈翼クバ來リ饗ケヨ

昭和十八年二月二十三日

舞鶴鎮守府等下各新聞社代表
京邦新聞社長 浦 田 芳 朗

弔 電

故海軍特務大尉野口良作外戦歿諸勇士ノ合同海軍葬儀ヲ執行セラルルニ當
リ其ノ赫々タル武勳ヲ思ビ慕ミテ英靈ニ對シ哀悼ノ誠ヲ捧ゲ遺族各位ニ深
甚ノ敬意ヲ表ス

小 磯 朝 鮮 總 督

大東亞戰爭戦歿者ノ海軍葬儀ニ當リ謹ミテ敬弔ノ意ヲ表ス

海軍兵學校長

弔電

謹ミテ護國ノ英靈ニ對シ敬弔ノ意ヲ表ス

海軍經理學校長

弔電

謹ミテ故野口特務大尉外諸勇士ノ英靈ヲ弔フ

海軍技術研究所長

弔電

合同海軍葬儀ニ當リ殉國諸勇士ノ偉勳ヲ偲ビ謹ミテ哀悼ノ意ヲ表ス

新潟縣知事

謹ミテ護國ノ英靈ヲ弔フ

龍鳳隊長他乗員一同

弔電

赫々タル武勳ヲ稱ヘ謹ミテ哀悼ノ意ヲ表ス

金澤聯隊區司令官

弔電

戰歿將兵ノ合同葬ヲ執行セラルルニアタリ謹ミテ哀悼ノ意ヲ表ス

富山縣會館長

弔電

謹ミテ護國ノ英靈ニ對シ敬弔ノ意ヲ表ス

大津市長

電 弔

海軍軍人諸勇士ノ戦歿者合同葬儀ニ對シ恭シク弔意ヲ表ス

米澤市長

電 弔

合同海軍葬儀ヲ執行セラルルニ當リ謹ミテ英靈ヲ弔フ

彦根市長

電 弔

謹ミテ故野口大尉外殉國勇士ノ英魂ヲ弔フ

京都市右京區長

電 弔

海軍葬ヲ行ハルルニ當リ謹ミテ野口大尉殿外諸勇士ノ英靈ニ對シ敬弔ノ意ヲ表ス

石川縣町村長會長

電 弔

謹ミテ護國ノ英靈ニ對シ敬弔ノ意ヲ表ス

富山縣町村長會長

電 弔

故海軍特務大尉野口良作殿外諸勇士ノ合同海軍葬儀執行セラルルニ當リ謹ミテ哀悼ノ意ヲ表ス

富山縣東礪波地方事務所長

電 弔

合同葬儀ニ當リ謹ミテ殉國勇士ノ武勳ヲ偲ビ御冥福ヲ祈リ奉ル

新潟縣三古地方事務所長

電 弔

謹ミテ戦歿諸勇士ノ偉勳ヲ偲ビ遙ニ敬弔ノ意ヲ表ス

新潟縣若船地方事務所長

弔電

合同海軍葬儀執行セラルルニ當リ謹ミテ敬弔ノ誠ヲ捧グ

富山縣西礪波地方事務所長

弔電

謹ミテ貴國ノ英靈ニ對シ敬弔ノ意ヲ表ス

滋賀縣愛知犬上地方事務所長

弔電

謹ミテ貴國ノ英靈ニ對シ感謝ノ誠ヲ捧グ細冥福ヲ祈ル

藤井縣二州地方事務所長

弔電

今次大東亞戰爭ニ名譽ノ戦死ヲ遂ゲラレタル故海軍葬儀大尉野口良作氏外

昭和十八年二月二十三日執行



舞鶴鎮守府大東亞戰爭戦歿者合同海軍葬儀弔辭弔電

葬 喪 管 理 者

柵山村葬 昭和18年2月24日

野口良作
 法名院號 高野山
 義淳院釋忠論
 位階勳等
 正七位
 勳四等
 功五級
 特務大尉
 戰死公報
 昭和拾七年十二月三日發表
 昭和拾七年拾月貳日午前
 三時四拾分 二六二〇一 東部
 二於于壯烈ナル戰死ニ遂ケ多
 海軍合同葬
 昭和拾八年二月三日於春日
 柵山村葬
 昭和拾八年二月廿四日

一 祭染料 金貳拾圓 天皇陛下
 一 供花料 金拾圓 海軍大臣
 一 弔慰金 金拾圓 軍令部總長
 一 御靈前 泉香一箱 海軍省
 一 御靈前 金拾圓 日本赤十字社
 一 敬弔 打敷一枚 軍人援護會
 一 香一箱 東本願寺
 一 御靈前 金五拾圓 富實人援護會

一 弔辭 同級生總代 前田松翁
 一 弔辭 富縣知事 町村金五
 葬儀料
 一 金四拾圓 東風善梅寺
 一 金拾圓 村常福寺
 村寄附
 一 金參拾圓也 村長源

